

地域とともに育む子どもの居場所づくり 「みんなのごはん in イオンモール神戸南」始動

イオンが2020年から取り組む「イオン こども食堂応援団」。フードドライブや募金活動を通じてこども食堂の支援を続けてきました。こうした活動を発展させ、地域の中で身近に支え合いが生まれる場「みんなのごはん in イオンモール神戸南」が開始しました。初開催となったこの日、買物の合間に立ち寄れる新しい居場所でたくさんの笑顔が広がりました。



少子化や共働き家庭の増加を背景に、家庭や学校以外で子どもが安心して過ごせる場所や、長期休暇中の食事機会の確保が課題となっています。こうした中、子どもや家族の居場所づくりに取り組んでいるのが、「NPO 法人神戸こども食堂ネットワーク」が母体となり地域で活動する「みんなのごはん」です。

イオンは2020年に「イオン こども食堂応援団」を立ち上げ、こども食堂を支援してきました。今回はその活動の一環として、イオンモールという日常的に多くの人を訪れる場の特性を活かし、買物の合間に立ち寄れる導線や、誰もが参加しやすい開かれた場づくりを通じて、「みんなのごはん」の実施に協力しました。

当日は桂佐ん吉さんのミニ落語会を鑑賞したのち、みなでお弁当を食べました。参加した子どもたちからは、「落語は初めて見た」「友達と一緒にごはんが食べられて楽しかった」「また来たい」といった声が聞かれました。保護者の方からは「買物のついでに立ち寄れるから便利」「子どもだけの参加にも安心感がある」との声も寄せられ、食事を囲みながら自然な交流が生まれました。

イオンは今後も、地域の皆さまとともに、日常の中に自然なつながりが生まれる場づくりに取り組んでいきます。

▼ご参考

・イオン こども食堂応援団 について

https://www.aeon.info/sustainability/social/kodomoshokudo_ouendan/

・動画「いーえす爺がゆく！イオン こども食堂応援団」

<https://www.aeon.info/wp-content/uploads/sustainability/video/kodomo.mp4>